	3	平成27年度	ケ谷市事務事	業	評価表	(事後)	(標準	評価表	₹)				
事系	务事業名		主要市道	整	備事業					款	項	目	多額経費
									一般	8	2	3	0
	政策	32都市	活動を支えるる	交通	通網整備	を進め	ります		担当課室	道路	河川	整	備課
	施策	3	21安全でゆとり	あ	る道路の	の整備			担当課室長	鎗田	3 2	享	
I 改革	-改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	たと	りの方質	耟)							
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に	事業費を拡え入を積極的に	大するため、国の 二図る。	の交付金の導		③平成 度に取 改革・i	組む			大する <i>†</i> 責極的!			の交	付
基づく 取組み 結果		構総合交付金を	導入した。		内容	-	亚ツ六	F7\C1.	R IZ H JI		v °		
Ⅱ事務	事業の目的・												
①目的	対象	主要市道			図(対象 るのか)	をどう	測量、	設計、	用地補	償、	工事	事を行	行う。
②事務署	事業の概要	安全で快適な道 形改良、排水素											
からの状況	う析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など)	事業開始前は、なかった。住民							幅員や	舗装	とな	こって	こい
Ⅲ事務	事業の成果や	やコストの状況											
①平成2 業の成身	6年度の事 果	主要市道の舗 (1)市道37号 m))市道:	51 号 約	線舗装さ	炇良.	工事	[(L=	208
②成果			票名称		平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	単位		算定	根	拠	
を表す	i	工事延長				,	1,617		業務耳				
指標	ii	工事延長【平成		†]	429	,	3,364		業務耳				
	iii	「道路の状況」		-		66.4		%	市民意				7 FF
		平成25年度決算		平	<u> </u>	度 大学	(事業質		び内訳	平月	(2/1	中度	<u> </u>
事業費(-		94,901	176,703		金額(千		市道37年	内容	4.白 テ 吉				,982
	出金(千円)出金(千円)	19,067	14,072				市道51 月					110,	,748
	5金(千円) その他(千円)		127,700	┢		10,300	中担の17	小水研表「	以区上尹			66	,800
	<u>くの他(エロ)</u> け源(千円)	75,834	34,931										,434
	i•検討	70,004	0-1,001									U 1,	, , , , ,
	目的に対す	市の主要な道路や舗装構成にな	なっていない。					多く、3	交通量(こ見	合っ	た幅	員
②評価		i市関与の妥当性			公平性		3高い		v 総合	評価		7拡き	奈
	 平価の理由	市民意識調査の	3高い の「道路の状況		効率性 「満足度		3高い ずるため	り、主要					
		である。											
Ⅴ 多額	の経費を要す	る事業等の「実		ける				-11-	h >= · · ·				
	の仕事の計画	市道2号線舗装	改良工事他		平月	成26年	度事業	費の制	犬況(単	.位:	千円]) _	

①平成26年度の計画	市道2号線舗装改良工事他	平	成26年	度事業	美費の 物	大況(単	位;千円)
①十次20十及07計画	11路線	計画事業費		予算額	Į		決算額	Į
の計画に対する事業実績	市道2号線舗装改良工事他			当初	190,205		H25から	23.597
②計画に対する事業実績	11路線	0.47.540		H25⇒26繰越	25,700		の繰越	23,397
③達成状況	未完了	217,546	243,246	補正	27,341	176,703	ᄪᄯᄭ	.=0.400
	県水道局工事と競合し調整に不			流用·充当			現年分	153,106
④未完了・非着手の理由		_ , , , ,			E0 400			
	繰越ししたため。	平成27年度への)繰越額(隼	位;千円)	59,438			

事務			▶ケ谷市事務事	耒評恤衣	(争伐)	(標準	評価表)			
- 7 1).	寄業名		一般古道	整備事業				会計	款」	頁目	多額 経費
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		בן נוי צניו	正师予不				一般	8	2	3 O
Ī	政策	32都市	「活動を支えるる	を通網整備	を進め	うます		担当課室	道路	河川	整備課
ţ	施策	3	21安全でゆとり	ある道路の	の整備			担当課室長	鎗田	淳	
	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ため <mark>の方</mark> 簿	衰)						
の評価で担げ		ズに対応すべく、 :コスト縮減のた 寸。		③平成 度に取 改革・	組む	コスト なる検		ための	整備	手法	の更
基づく 取組み 結果	減を図った。	び再生材を使用	してコスト縮	内容	~ "	<i>5</i> , <i>6</i> , <i>7</i>					
Ⅱ事務	事業の目的・	· <u> </u>									
①目的	対象	一般市道		意図(対象するのか)	きどう	安全で	きゆとり	のある	道路	こ整	備する。
②事務事	②事務事業の概要 道路整備による地域環境 い路線の拡幅を行い地域(舗装箱	新設.	、狭あ
からの状況	↑析(事業開始 記変化や今後の 民意向など)		る一般市道が未 満足となるよう				路排水	、整備 <i>0</i>)必要	があ	らった。
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況									
①平成26 業の成果	6年度の事 !		道路排水施設と 3号線排水整備					17 号 約	舗装	改良	を上事
②成果		指	ボクチ	T L - 4							
1			票名称		平成25 年度	平成26 年度	単位		算定	根拠	<u>L</u>
を表す	į	工事延長		年度 106	年度 1,009	年度 1,157	m	業務耳	以得	根拠	<u>L</u>
指標	i ii	工事延長	23年度から累記	年度 106	年度 1,009 1,297	年度 1,157	m m	業務耳	文得 文得		<u>!</u>
指標	iii	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」	23年度から累記 不満足度	年度 106 +】 288	年度 1,009 1,297 66.4	年度 1,157 2,454 —	m m %	業務耳 市民意	文得 文得 意識調	査	
指標 ③事務事	iii 業のコスト	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算	23年度から累記 不満足度 <mark>平成26年度決算</mark>	年度 106 +】 288 - 平成26年	年度 1,009 1,297 66.4 度決算	年度 1,157 2,454 —	m m % ()の主	業務耳 市民意	文得 文得 意識調	査27年	度予算
指標 ③事務事 事業費(刊	iii 禁 変のコスト -円)	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 <mark>平成25年度決算</mark> 32,628	23年度から累記 不満足度	年度 106 +】 288	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 一円)	年度 1,157 2,454 一 (事業費	m m %)の主	業務耳 市民意 な内訳	文得 文得 意識調	査27年	
指標 ③事務事 事業費(千 国支出	iii 業のコスト	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算	23年度から累記 不満足度 <mark>平成26年度決算</mark>	年度 106 十】 288 一 平成26年 金額(干	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 -円) 9,573	年度 1,157 2,454 —	m m % か ウ容 3号線排水	業務項 市民意 な内訳 ^{整備工事}	文得 文得 意識調	査27年	度予算
指標 ③事務事 事業費(干 国支出 市債そ	iii 事業のコスト 一円) 計金(千円) 計金(千円) 一の他(千円)	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算 32,628 5,231	23年度から累言 不満足度 平成26年度決算 43,814	年度 106 十】 288 一 平成26年 金額(干	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 -円) 9,573	年度 1,157 2,454 一 (事業費 市道3308	m m % か ウ容 3号線排水	業務項 市民意 な内訳 ^{整備工事}	文得 文得 意識調	查27年	度予算 35,000
指標 ③事務事 事業費(千 県支出 市債を 一般財	iii 業のコスト 一円) 社金(千円) 社金(千円) 一の他(千円) 計源(千円)	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 <mark>平成25年度決算</mark> 32,628	23年度から累記 不満足度 <mark>平成26年度決算</mark>	年度 106 十】 288 一 平成26年 金額(干	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 -円) 9,573	年度 1,157 2,454 一 (事業費 市道3308	m m % か ウ容 3号線排水	業務項 市民意 な内訳 ^{整備工事}	文得 文得 意識調	查27年	度予算
指標 ③事務事 事業費(干 国東支出 市般財 IV 評価	iii	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算 32,628 5,231	23年度から累言 不満足度 平成26年度決算 43,814	年度 106 十】 288 一 平成26年 金額(干	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 -円) 9,573	年度 1,157 2,454 一 (事業費 市道3308	m m % か ウ容 3号線排水	業務項 市民意 な内訳 ^{整備工事}	文得 文得 意識調	查27年	度予算 35,000
指標 ③事務事 事業費(干 国東支出 市般財 IV 評価	iii 業のコスト (円) (金(千円) (金(千円) (の他(千円) (計源(千円) ・検討 目的に対す	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算 32,628 5,231 27,397 道路排水施設	23年度から累記 不満足度 <mark>平成26年度決算</mark> 43,814 43,814 の未整備箇所、	年度 106 十】 288 一 平成26年 金額(千	<u>年度</u> 1,009 1,297 66.4 度決算 9,573 15,596	年度 1,157 2,454 一 (事業費 市道330% 市道451*	m m % か 内容 3号線排水 7号線舗装	業務項 市民意 な内訳 ^{整備工事}	文得 文得 意識調	查27年	度予算 35,000
指標 ③事務事 事業費(干 原見) 取 取 1V 評価 1課題(1)	iii 業のコスト (円) (金(千円) (金(千円) (の他(千円) (計源(千円) ・検討 目的に対す	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算 32,628 5,231 27,397 道路排水施設 i 市関与の妥当性 ii 有効性	23年度から累記 不満足度 <mark>平成26年度決算</mark> 43,814 43,814 の未整備箇所、 3高い 3高い	年度 106 106 106 288 一 平成26年 金額(干	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 -円) 9,573 15,596	年度 1,157 2,454 一 (事業費 市道3300 市道4511 が多し 3高い 3高い	m 96 96 内容 3号線排水 7号線舗装	業務耳 市民意 な内訳 整備工事 改良工事	文得 文得 文	7拉	度予算 35,000 35,000 拡充
指標 事費(王) 上記 で (1) る (2) (3) 上記 で (3) には (1) な (4) には (1) には (4) には (1)	iii	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算 32,628 5,231 27,397 道路排水施設 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民意識調査 である。	23年度から累記 不満足度 <mark>平成26年度決算</mark> 43,814 43,814 の未整備箇所、 3高い の「道路の状況	#度 106 1 288 - 288 平成26年 金額(千 ・ 金額(千 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 本 ・ ・ ・ ・ ・	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 9,573 15,596 良箇所	年度 1,157 2,454 一 (事業費 市道3300 市道4511 が多し 3高い 3高い	m 96 96 内容 3号線排水 7号線舗装	業務耳 市民意 な内訳 整備工事 改良工事	文得 文得 文	7拉	度予算 35,000 35,000 拡充
指標 事費(王) 上記 で (1) る (2) (3) 上記 で (3) には (1) な (4) には (1) には (4) には (1)	iii 事業のコスト 子円) 会(千円) (金(千円) 一の他(千円) ・検討 目的に対す ど)	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算 32,628 5,231 27,397 道路排水施設 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民意識調査 である。	23年度から累記 不満足度 <mark>平成26年度決算</mark> 43,814 43,814 の未整備箇所、 3高い 3高い	年度 106 +】 288 - 平成26年 金額(干 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 9,573 15,596 良箇所	年度 1,157 2,454 一 事業費 市道330% 市道451 が多し 3高い 3高い	m m % % 次 内容 3号線排水 7号線舗装	業務耳 市民 な 内訳 整備エ事 中	文得 文得 意識 可 文 意識 記 文 で の を が の を の を の を の を の を の を の を の を の	予 7 指は 7	度予算 35,000 35,000 亦充 下可欠
指標 事業 事業 国県市 一般 で で で で で で で で で で で の で の で の の の の	iii	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算 32,628 5,231 27,397 道路排水施設 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民意識調査 である。 る事業等の「到 舗装等整備	23年度から累記 不満足度 平成26年度決算 43,814 43,814 の未整備箇所、 3高い 3高い の「道路の状況	年度 106 +】 288 - 平成26年 金額(干 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 9,573 15,596 ほ 食 箇 所 に 記 で 下 に 記 で で に 記 で で に 記 で で に 記 で で に 記 で で に 記 で で で に 記 で で に 記 で に こ に に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ	年度 1,157 2,454 事業費 市道3300 市道451 が多い 3高い ずるため 度事業 予算額	m 96 96 ウンウン ウンマン フラ緑編業 でのよ	業務耳 市民 な 内訳 整備エ事 中	文得 又得 意識 。 平成 か を は は は は は は は は は は は は は	7. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	度予算 35,000 35,000 亦充 下可欠
指標 事費 事費 国県市一部 課規 で で で で で で の の の の の の の の の の の の の	iii	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算 32,628 5,231 27,397 道路排水施設 i 市関与の妥当性 ii 有効意 である。 る事業等の「写 舗装等整備 市道4517号編 事他8路線	23年度から累記 不満足度 平成26年度決算 43,814 43,814 の未整備箇所、 3高い の「道路の状況 2施計画」にお い 線舗装改良工	年度 106 1 288 	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 9,573 15,596 ほ	年度 1,157 2,454 - (事業費 市道330% 市道451* が 3高い 3高い ずるため 事業額 当初 H25=26機能	m m 96 96 ウトマ 7号線舗装 へ。	業務耳 市民 な 内訳 整備エ事 中	文得 文字 意識 平成 か整備	7打 (7) (度予算 35,000 35,000 亦充 下可欠
指標 ③事費(子 以 評題() ③上では ・	iii	工事延長 工事延長【平成 「道路の状況」 平成25年度決算 32,628 5,231 27,397 道路排水施設 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民意意識調査 である。 る事業等の「多 舗装等整備 市道4517号紀	23年度から累記 不満足度 平成26年度決算 43,814 43,814 の未整備箇所、 3高い の「道路の状況 2施計画」にお い 線舗装改良工	年度 106 1 288 	年度 1,009 1,297 66.4 度決算 9,573 15,596 ほ	年度 1,157 2,454 事業費 市道330点 市道451 が 多に 3高い ずるため 事業額 当初	m m % え)の主 内容 3号線排水 7号線舗装	業務耳念 な内訳 整備 エ事 事 合 合 の 分	文得 文得 意識 ・ で ・ で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	査 27年 ; ; , , , , , , , , , , , , , , , , ,	度予算 35,000 35,000 亦充 下可欠

平成27年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

	3	平成27年度 銵	ケ谷市事務事	業評	「価表	(事後)	(標準	評価表	[)				
由习	女击 坐 夕		エハギ動	洪 吉	- **				会計	款	項	目	多額 経費
事 7	务事業名		私道整	佣事	未				一般	8	2	3	
	政策	32都市	活動を支えるる	を通	網整備	を進め	ります		担当課室	道距	烙河	整	備課
	施策	3	21安全でゆとり	ある	道路(の整備			担当課室長	鎗E	田湾	<u> </u>	
I 改革	· 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ため	の方気	(長)							
①のでた ②基取結果	ための整備系	ぐに対応すべく、 手法の更なる検 舗装構成を一般 Jも簡易的なもの	討。 	J ī	③平成 度に取 改革・i 内容	組む	私道舗る。	捕装整 值	備要綱	の見	直し	,を 図	য
	事業の目的・	概要											
①目的	対象	私道			i(対象 のか)	をどう	舗装螯	整備工₹	事を行う	う 。			
②事務署	事業の概要		<る地域環境の 環境の向上を図		.の <i>†</i> =8	か、未舒	浦装私法	道の舗	装を推	進L	,地垣	t住 .	民の
からの状況見込み・市	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など)										こ悪景	彡響	を及
Ⅲ事務	事業の成果や	やコストの状況											
①平成2 業の成身	6年度の事 果		道舗装整備要綱 ム道舗装整備事					整った	私道に	つし	へて舒	装	を実
2成果		指标	票名称		平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	単位		算足	定根:	処	
を表す	i	工事延長			236	103			業務耳				
指標	ii		23年度から累記	†]	746	849	898		業務耳				
(A) = 7/a =	iii	「道路の状況」			_	66.4		%	市民意				77 MT
		平成25年度決算		_			事業費		な内訳	平点	灭2/±		
事業費(2,537	1,188	亚	額(千		エルギタ	内容	サー市				,480
	出金(千円) 出金(千円)					1,100	私道部	衣笠	用工事				
	<u>山亜(十円)</u> その他(千円)												
	<u>との他(エロ)</u> け源(千円)	2,537	1,188										,480
IV 評価		2,037	1,108							H		4,	, -1 00
	目的に対す	私道舗装整備	要綱の要件を潟	あたる	ナ件数	が少な	iくなっ ⁻	てきてし	いる。				
②評価		i 市関与の妥当性 ii 右効性	2普通 2普通		公平性 効率性		2普通 2普通		v 総合	評価	6精	查•	検証
③上記記	ii 有効性2普通③上記評価の理由市道整備の要望が多数あめ、精査していく。							バラン	スを取	る必	要カ	あ	るた
V 多額	の経費を要す	る事業等の「多		ナるi	達成状	況							
	6年度の計画					度事業 予算額		大況(単		千円			
②計画に	対する事業実績	私道舗装整備 理組合1件)	工事(道路管	可凹	尹 禾頁		了异码 当初 H25⇒26繰越	1,500		H25	昇 る から 繰越	£	
③達成物	犬況	完	了		1,500	1,500	補正		1,188		年分		1,188
④未完了	・非着手の理由			平成2	7年度への)繰越額(単	流用·充当 位;千円)		<u> </u>	-26-	1 71	<u> </u>	,

	Σ	P成27年度 銵	大谷市事務事	業評	価表	(事後)	(標準	評価表	<u>(</u>)				
事務	8事業名		通学路勢	整備 事	業				会計	款	項	目	多額経費
					-				一般	8	2	3	0
	政策	13人間性	生豊かな子ども	の育原	戊環均	竟をつく	くります		担当課室	道路	孙	整	備課
	施策	13	3児童・生徒の(建康と	安全	の確保	₹		担当課室長	鎗田	月		
I 改革	• 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための	の方気	耟)							
①のでた ②基取結果	用地補償を控	予備設計及び		度改	に取	t27年 t組む 改善			大するが			の交	:付
Ⅱ事務	事業の目的・	概要											
①目的	対象	小中学校の児 学路	童生徒及び通	意図(する(をどう	児童生 うにす		安全に	登下	校て	きる	るよ
②事務事	安全に通学でき 生の向上を図る		う、步	道のな	い通	学路に	歩道を	整備	L,	登下	校		
からの状況	分析(事業開始 記変化や今後の 民意向など)	通学路の拡幅 全を図る。	や歩道確保をす	けるこ	とで、	登下村	交時の道	通学路	におけ	る児	童生	:徒(の安
		やコストの状況											
①平成2 業の成界	6年度の事 そ		予備設計と市道 予備設計委託							(A=3	319r	ทึ)	
②成果		指标	票名称			平成25 年度	平成26 年度	単位		算定	根	処	
を表す	i	学校災害件数			7.1	6.5			業務耳				
指標	II III	事業費【平成24 工事延長【累計		i†] 2	,258, 0	9,414 0	21,858	千円 m	決算 業務耳				
③重級重		平成25年度決算		平成							775	E度	予質
事業費(=		7,157	12,444		<u>20</u> 一, 額(千		(7 ~ 5	内容	8 F 1 D/C	1 15	, <u> </u>		,000
	出金(千円)	7,107	1,760		-50 (1		市道1号		計委託				,200
県支出	出金(千円)					6,315	市道12	号線用	地買収				
	その他(千円)												,700
	才源(千円)	7,157	10,684									9	,100
IV 評価 ①課題(る現状な	目的に対す	道路の拡幅等 応せざるを得な		』を要	する	要望に	対して	は、ま [・]	ずは代	替的	な対	対策	で対
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公 iv 効			2普通 3高い		v 総合	評価	-	7拡き	充
③上記部	平価の理由		<u>ら同じ・</u> と交渉し用地補					生がある	5.				
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実		ナム達	成出	沅							
	6年度の計画	市道1号線予備地買収、物件和	請設計委託、用		平月	成26年	度事業 予算額		犬況(単		千円算額		
②計画に対	対する事業実績	市道1号線予備 地買収、物件补	設計委託、用					11,205		H25:	から	<u> </u>	
③達成物	犬況	完		15,	,734	15,734	補正	4,529	12,444	現年		1:	2,444
④未完了	非着手の理由			亚出口	5 使 へ の)繰越額(単	流用・充当						

	3	平成27年度 釒	兼ケ谷市事務事	業評価表	(事後) (標準	評価表)		
古 3/	8事業名		ᇷᇄᆉ	收數准审判	Ł			会計	款項	国 多額 経費
事 73	70 未石		γ μ] / 	络整備事業	₹			一般	8 3	
	政策	22	2快適な暮らし	の環境をつ	くります	†		担当課室	道路河	川整備課
	施策	2:	23うるおいある	河川•水路	の整備			担当課室長	鎗田 :	享
I 改革	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方気	策)					
①前回 の評価 で掲げ た内容		未定であるが、§ ご、整備方針等(③平 _月 度に取 改革・	収組む		り り り り り り り り り り り り り り り り り り り			
②①に 基づく 取組み 結果 II 事務		がついていない は行えなかった 		内容	以告	の検討	付を行う	0		
世 事物	争未の日明	-				3 = 1.4-	L== = +1	L		
①目的	対象	①主要な水路 ②その他の水	路	意図(対象 するのか)			捜害の軽 ₹屋等の		生確保	
②事務事	事業の概要	①流末としての	考慮し、段階的)施設の確保及 末としての機能	び流下能	力の向					
からの状況	分析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)	急激な都市化のになった。今後なる。依然として	下流の整備が	進むと、市	域の河	丁川施 討	と の将来			
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況								
①平成2 業の成界	6年度の事 見	•紙敷川改修事	事業として、L=	130.0m <i>ത</i>	河川整	備を松	戸市主	体によ	り実施し	した。
②成果		指相	標名称	平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	単位	算定机	艮拠	
を表す	i	主要な水路の	暫定改修実施		6.50	6.50	%	業務耳	又得	
指標	ii		0mm/hr改修実施	图率 2.60	2.60	2.60	%	業務耳	仅得	
	iii		長(河川水路)	31.9	31.9	31.9	ha	業務耳		
	業のコスト		平成26年度決算			(事業貨		な内訳	平成27	
事業費(=	<u>+円)</u> 出金(千円)	11,893	3,892	金額(7		幺年 串午 111	<u>内容</u> 改修事業	台中仝		9,910
	出金(千円) 出金(千円)				3,032	小以方入八	以沙尹木	只卫亚		
	の他(千円)									
一般則	才源(千円)	11,893	3,892							9,910
Ⅳ 評価	検討									
①課題(る現状な	目的に対す :ど)	整備の目安が					に取り約	組めない	,۱ _°	
②評価		i市関与の妥当性		iii公平性		3高い		v 総合	評価 6 料	青査・検証
		ii 有効性	3高い えた斬字めた刺	iv 効率性		3高い	5/ + 107			
	呼価の理由	将来形を見据無いよう効果的	りな手法の検討	を行う。		'呪祆(いは、符	木の金	≘1佣 (〜伎	沃りの
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実				- # # #	生典の川	2 2	<i>1</i> 4 - 7 -	7\
①平成2	6年度の計画	· 紙敷川改修賃 · 金山落水路用		計画事業費		· 皮事第 予算額	美費の状 1	、况(単 ┃	位;干F 決算額	
②計画に	+ 320 + 20 ・金山落水路用地 ・金川落水路用地 ・紙敷川改修負担金支払いる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			川山子木具		当初	10,903	1	H25から の繰越	
© #11 —11 = 1				-						
③達成物	犬況	未完	 包含	10,903	10,903	補正	0	3,892		
③達成物			は、用地取得方なかったため、		10,903	流用·充当	0		現年分	3,892

	<u> </u>	呼成27年度 銵	ケ谷市事務事	業	評価表	(事後)	(標準	評価表	₹)				
車泵	女車 娄 夕		準用河川	東女 /	岸車				会計	款	項	目	多額経費
事 //	务事業名		华用冽川	筆1	用争未				一般	8	3		
	政策	22	 快適な暮らしの)環	境をつ	くります	-		担当課室	道路	各河	 整	備課
	 施策	22		可川	•水路	の整備	<u> </u>		担当課室長	鎗E	日淳	 字	
I 改革	.•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	<i>t=&</i>	りの方気	策)							
①前四ので掲げった内ででは、 とりでは、 できまれる できまれる といっと はいまれる はいまれる はいまれる はいまれる はいまれる はいまれる はいまい かいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい	可能な最も効 浸水被害の動 浸水被害等の で整備可能が 選定した。	経減のため、整 対果のある箇所 経減を図るため アデータを基に いつ効果のある	の選定を行う。 、道路冠水や 予算の範囲内		③平成度に取改率・ 内容・	奴組む	時点で		軽減の: な最も交 う。				
Ⅱ事務	Ⅲ 事務事業の目的・概要												
①目的	対象	準用河川			図(対象 るのか)			捜害の ア屋等の	軽減 の安全 [:]	性確	保		
②事務事	事業の概要	計画の策定を行 ①流下能力の ②50mm/hrの	向上と護岸の保	護	を目的	とした				·行う	,		
からの状況	↑析(事業開始 品変化や今後の 「民意向など)	急激な都市化の うになった。今後 となる。依然と	後下流の整備な	が進	むと、	市域の	河川施	設の料					
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
①平成2 業の成界	6年度の事 艮	二和川護岸改作	修第28期工事	L=	=108.	7mを	完了し	<i>t</i> =。					
②成果		指标	票名称		平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	単位	算定机	艮拠			
を表す	i		修実施率		16.40	18.61	19.73	%	業務耳				
指標	ii		改修実施率			11.42		%	業務耳				
(a) = 75 =	 	12 2 1 1 10 1 1 11	河川、準用河川		82.0	81.5	81.5	ha	業務耳		507		7 M
	事業のコスト	平成25年度決算					争美貨		な内訳	平月	X2/1		
事業費(-	[円]) 出金(千円)	49,258	31,059		金額(日		二和川整	内容	が かいまま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かい			148	,254
	<u>1金(千円)</u> 1金(千円)						二和川河						
	その他(千円)	32,300				,	二和川					35	,100
	才源(千円)	16,958	31,059				二和川部						,154
IV 評価		<i>,</i>	,										
①課題(目的に対す 河川改修は下流から行うのが原則であるため、整備は現時点で可能な最も効果の る現状など) ある箇所を選定し、将来の整備に後戻り無いようにしなければならない。								果の					
②評価	古関与の妥当性 2 古 1						3高い 3高い		v 総合	評価	6精	査∙	検証
③上記評	平価の理由	えた暫定的な整 な手法の検討			かなし	·現状~	では、ギ	子来の	警備	に後	戻り	の	
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	『施計画』におり	ける	達成状	況							
①亚成2	6年度の計画	二和川護岸改							犬況(単				
1 13,2	▽ 十及の 計画	川整備設計・エー和川議場で		計画	画事業費		予算額	00 005		決	算額	Į	
			ヘコンじゅって			-	7 II		_	LIAF			

当初

H25⇒26繰越

補正

122,337

平成27年度への繰越額(単位;千円)

88,895

16,452

16,990

70,784

31,059

105,885

二和川護岸改修第28期工

②計画に対する事業実績

④未完了・非着手の理由

事を完了した。 未完了 二和川整備設計は、H27へ 繰り越したため。

16,452

14,607

H25から の繰越

現年分

平成27年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

	3	平成27年度 銷	*ケ谷市事務事	業評	価表	(事後)	(標準	評価表)				
事務	务事業名		地域排水	整備	事業				会計	款 8	項 3		多額 経費 〇
	 政策	22)環境	 をつ	 くります			担当課室	道路	上 各河丿	 整(備調
	 施策	22		 河川·	水路	 の整備			担当課室長	鎗E	日湾	<u> </u>	
I 改革	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施するが	ための	り方策	Ę)							
①前回のでは では でたりで ② ② でも でも でも でも でも でも でも できる でも できる でも できる でも できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	可能な最も数 浸水被害の轉 浸水被害等の	経減のため、整かまでは、要がまである箇所のを表します。 といっと はいま といっと といっと といっと という という という という という という という という という とい	の選定を行う。 、道路冠水や 整備可能かつ	月	③平成 度に取 牧革・i 内容	組む	時点で	捜害の軸 ぎ可能な ごを行う	よ最も交				
結果		箇所について選!	定した。										
Ⅱ事務	事業の目的・	概要											
①目的	対象	地域排水施設			(対象 のか)	をどう	浸水被	捜害の軸	圣減				
	事業の概要	て、下流への影	接的な原因が地	つ、河	「川・力	k路まで	での施言	没整備?	を行う。				
からの状況 見込み・市	民意向など)	の進展により、『 下流の整備がデ て浸水被害はあ	進むと	と、市場	域の河	川施設	との将来						
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況											
①平成2 の成果	6年度の事業	丸山一丁目地 鎌ケ谷二丁目	区地域排水整值 地区排水管改值	多工事	では	、管渠	内被膜						
②成果			票名称	年		平成25 年度	平成26 年度	単位	算定机				
を表す	i		了•着手箇所数		16	18	20		業務軍				
指標	ii iii		(地域排水) 設置基数		11.2	11.1 6,411	11.1 6.587		業務耶 業務耶				
③重姦重	業のコスト	17 17	平成26年度決算				(事業費				サクフ を	E度与	予質
事業費(=		42,499	35.509		額(千		(7,7,5	内容	0-1-31/-(1 /2	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>		.065
	出金(千円)	,	,			3,996	初富字五	本松基本	設計委託				
	出金(千円)					3,444	鎌ケ谷二	丁目実施	設計委託				
市債ぞ	その他(千円)		10,500			14,040	丸山一丁	目地区排水	、整備工事			29,	,200
一般則	才源(千円)	42,499	25,009			6,039	鎌ケ谷ニ	丁目排水管	改修工事			27,	,86
Ⅳ 評価	•検討												
①課題(る現状な	目的に対す :ど)	効果のある場所	減を図るため、	ればな	ならな			のデー	タを基	に整	備可	『能か	ハつ
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		平性 率性		3高い 3高い		v 総合	評価	6精	査•ホ	食証
③上記評	呼価の理由	将来形を見据え	えた暫定的な整 な手法の検討	備を	行うし			は、将	来の整	を備(こ後	戻りの	カ
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	『施計画』におけ	ける達	成状	況							
①平成2	6年度の計画	排水整備工事、初整備工事、道野辺	中央5丁目地域		平月	成26年	度事業	費の物	犬況(単	位;	千円	1)	
	0年度の計画 排水整備委託、初富五本松排水整 備委託、丸山一丁目地区排水整備 工事	目地区排水整備		事業費		予算額	į		決	:算額	Į		
	対する事業実績	浸透桝モニター、鎌ケ谷二丁目地域 排水整備工事、初富五本松排水整 備委託、丸山一丁目地区排水整備 エ東でラスレナ		271	45,180	当初 H25⇒26繰越	19,271 10,637	35,509		から _{繰越}	g	9,11	
③達成∜	大況	未5 初富字古桜地区排 地権者との交渉が	非水整備工事は、				補正 _{流用·充当}	15,000 272		現年	宇分	26	6,39
① +=7	地権者との交渉が難航したたる 未完了・非着手の理由 着手となった。道野辺中央5丁 域排水整備委託は、H27に繰ったため。												

	3	平成27年度 銵	をおいまである。	業評価表	(事後)	(標準)	評価表)				
	tr 		- 1. n+ sn v	ı. =+ + == 2	Ше			会計	款	項	目	多額経費
— → 形	務事業名		雨水貯留流	也整備爭	美			一般	8	3		O
	 政策	22	 快適な暮らしの		くります			担当課室	道路	L 各河)	整	備課
	 施策	23		可川・水路				担当課室長	鎗F	H :5	<u> </u>	
		 =事務事業をよ [[]				н		2.184.18	当日ト	ц /-	-	
1前回	W I I I I I	チ切す木との	7尺、人心。		K /							
の評価 で掲げ た内容 ②①に		経減のため、整位を 対果のある箇所の			成27年 収組む 改善	時点で	可能な	経減の 3最も効				
基づく取組み結果	浸水被害等(怪減を図るため。 のデータを基に 節所について選!	整備可能かつ	内容	U E	の選定	≧を行う	0				
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要										
①目的	対象	雨水貯留池		意図(対象 するのか)				の調整を抑制で				
②事務事	事業の概要	浸水被害の軽差を行う。整備に						た則	留池	也の	整備	
からの状況 見込み・市	分析(事業開始 記変化や今後の ・民意向など)	の進展により、『 下流の整備が て浸水被害はあ	進むと、市	域の河	川施設	め将す						
Ⅲ 事務	事業の成果な	ウコストの状況										
①平成20 の成果	6年度の事業	・南初富2丁目 備事業に伴う用 崎新田貯留池・		した。・南	初富5¯	丁目貯留	留池整 [。]					
②成果			票名称	平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	単位	算定机				
を表す	i		の暫定整備率	85.71	85.71		%	業務耳				
指標	ii iii		池の整備率 留量		57.14 37,480		% m3	業務耳 業務耳				
③ 事務事		平成25年度決算								艾27年	E度:	予算
事業費(日		68,339	235,952				内容			~		,032
国支出	金(千円)	·	45,480		60,727	南初富5	丁目貯留池	整備工事				
	金(千円)				16,614	串崎新田	貯留池暫定	整備工事				
	での他(千円)		134,200		52,931	南初富2丁目	宁留池整備事業 (に伴う用地購入				,200
	<u>材源(千円)</u> - 株計	68,339	56,272								12	,832
IV 評価 ①課題(る現状な	目的に対す	浸水被害の軽減効果のある場所				被害等	のデー	タを基	に整	備可	能力	かつ
②評価		i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性iv 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価		7拡3	一
	 呼価の理由	ii 有効性 浸水被害の軽		下流の整	備が進	んでい			、貯	留池	を整	∰
		∮ ることが 取書 -る事業等の「実	策と考えられる			ノ発加を	に進めりる) 。				
V 夕蝕	ツルエ貝で女 9	南初富5丁目貯			· 成26年	 	きゅうし	₩ () 	(台)	チロ	1)	
①平成2	6年度の計画	初富2丁目貯留:	池(用地購入)、	計画事業費	-	予算額		へがく芋		算額		
	対する事業実績	南初富5丁目貯初富2丁目貯留 初富2丁目貯留 串崎新田貯留池 れ実施。	留池(工事)、南 池(用地購入)、 (工事)それぞ	246,730	246,458	当初 H25⇒26繰越	163,770 0	235,952		がら 繰越		0
③達成状		完	了 			補正	82,960 -272		現金	年分	23	5,952
④未完了:	・非着手の理由			平成27年度へ	の繰越額(単							

	<u> </u>	平成27年度 銷	・ ケ谷市事務事	業	評価表	(事後)	(標準	評価表	₹)				
事務	§事業名	都市計画道路	A3•4•5号船橋	我	孫子バ	イパス	線整備	事業	会計一般	款 8	項 4	3 (多額 経費
	 政策	32都市	 i活動を支える3	を通	網整備	まを進ん	カます		担当課室	道路			
	<u> </u>		21安全でゆとり				, , ,		担当課室長	鎗田			1113 H>1
		 =事務事業をよ							但当誅王攻		1 /子	-	
1 0 年 1 前回	- 以告內合(-	一事物争未であ	グ及へ天肥する	/_ \alpha	707735	尺 /							
の評価で掲げた内容		ある千葉県と連 †源の確保を図			③平月度に取	組む		が確定と				主体	で
②①に 基づく 取組み 結果	と連携し、事	こあたり、事業3 業の進捗を図っ			改革•і 内容	以 吉	める士	葉県と	建捞?	rizi 6)。		
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要					ı						
①目的	対象	都市計画道路	3•4•5号線		図(対象	きどう	整備す	「ること 「る。	で交通	の利	便性	生を向	句
②事務事	事業の概要		る千葉県に対し mů、事業認可予								幅員	18m	١,
からの状況	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など)								県道船	沿橋 我	法孫 三	子線(の
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
①平成2 業の成界	6年度の事 見	県土地開発公	社による先行取	双得	のため	、地元	負担金	の支出	は無力	かった	٥.		
②成果		指标	票名称			平成25 年度	平成26 年度	単位		算定	根抄	U.	
を表す	i	都市計画道路			12,169		12,169		業務耳				
指標	ii	都市計画道路			33			%	業務耳		ш →		
の事数目	iii 業のコスト	「道路の状況」 平成25年度決算		177	— 成26年)	66.4		% ₹\ 0 ÷	市民意	,,,,,,,		中区	2. 笞
事業費(=		10,005	<u> </u>		成20年 金額(千		(尹禾)	内容	4円訳	十八	,८/4		/ 异)00
	出金(千円)	10,000	0			1 1/		h 1.17				0,0	,00
	出金(千円)												
	その他(千円)												
	<u> </u>	10,005	0									3,0	000
Ⅳ 評価													
①課題(る現状な	目的に対す		の箇所があり、					, \ °	_				
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		<u>公平性</u> 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	7	拡充	5
③上記評	呼価の理由	機能的な道路	ネットワークの 指す必要性があ	構築	や利用			安全的	生の向.	上を	図る	べくば	首
Ⅴ 多額	の経費を要す	る事業等の「多	徳計画」におり	ナる									
①平成2	6年度の計画	地元負担金		計画	平) 画事業費	成26年	度事業 予算額		犬況(単 ┃		千円 算額		
		県土地開発公社 得のため、地元は無かった。	負担金の支出		3,000	3,000	当初 H25⇒26繰越	3,000	0	H257 の緘	から		
③達成物	犬況	完	了				補正			現年	分		0
	・非着手の理由			平成	27年度への)繰越額(単	流用·充当 位;千円)		<u> </u>	九十	- 71		J

	3	平成27年度 銵	ケ谷市事務事	業	評価表	(事後)	(標準	評価表)			
事系	·		新京成線連続	寸化	体交差:	事業			会計	款項	目	多額 経費
3 - 3.	27 7 7 1		1717347747177			1.514			一般	8 4	3	0
	政策	32都市	活動を支えるる	を通	網整備	まを進&	ります		担当課室	道路河	川整	備課
	施策	3	21安全でゆとり	ある	る道路の	の整備			担当課室長	鎗田 🏻	享	
	改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	<i>t=&</i>	りの方気	耟)						
①のでた②基取結回価げ容にくみ	千葉県及び版 必要な財源の 事業主体であ	を図るため、事業 関係機関と調整 D確保を図る。 ある千葉県及び な財源の確保	するとともに、		③平成度に取改革・i 内容	組む	である	千葉県	及び関	こめ、事 関係機関 な財源 <i>0</i>	引と訓	整
Ⅱ事務	孫事業の目的・	概要										
①目的	対象	新京成線高架橋								E実現させ	とる(対	也元
②事務署	②事務事業の概要 本市の東西を走る新京原 断等を解消する目的で、原									帯や市征		の分
からの状況	分析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など)		切遮断による交 とにより、踏切								に遁	₽ħ
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況										
①平成2 業の成身	16年度の事 果	初富駅と北初間 を実施した。	富駅の仮駅で <i>の</i>)運	行開始	。全区	間仮線	に切り	替え、	高架橋	築造	工事
②成果			票名称		平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	単位		算定根	.拠	
を表す	i		/得済/用地面積	事)	97	100	100		業務耳	7得		
指標	II	事業進物率(ま		`		٥.			サムケロ			
	Liii		業費ベース)		53	65	77		業務軍	7得	<u> </u>	
(3) 事 務 耳	iii 事業のコスト	鉄道駅乗降客	数(1日当たり)		53 189,701	190,011	調査中	人	統計な	対得 いまがそ		予質
③事務 事業費(-	事業のコスト		数(1日当たり)	平	53 189,701	190,011 度決算	調査中	人	統計な	対得 いまがそ		
事業費(三国支出	事業のコスト 千円) 出金(千円)	鉄道駅乗降客 平成25年度決算	数(1日当たり) 平成26年度決算	平	53 189,701 成 26年 , 金額(千	190,011 度決算 - 円)	調査中	人 ()の主 内容	統計だな内訳	対得 いまがそ	年度	
事業費(三国支出	事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円)	鉄道駅乗降客 平成25年度決算 670,533	数(1日当たり) <mark>平成26年度決算</mark> 613,444	平	53 189,701 成 26年 , 金額(千	190,011 度決算 - 円)	調査中	人 ()の主 内容	統計だな内訳	対得 いまがそ	<u>年度</u> 608	326
事業費(- 国支出 県支出 市債	事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円)	鉄道駅乗降客 平成25年度決算 670,533 641,100	数(1日当たり) <mark>平成26年度決算</mark> 613,444 552,300	平	53 189,701 成 26年 , 金額(千	190,011 度決算 - 円)	調査中	人 ()の主 内容	統計だな内訳	対得 いまがそ	年度 608 524	900
事業費(三国支出 県支出 市債者	事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	鉄道駅乗降客 平成25年度決算 670,533	数(1日当たり) <mark>平成26年度決算</mark> 613,444	平	53 189,701 成 26年 , 金額(千	190,011 度決算 - 円)	調査中	人 ()の主 内容	統計だな内訳	対得 いまがそ	年度 608 524	326
事業費(三字) 「中間」 「中間」 「中間」 「中間」 「中間」 「中間」 「中間」 「中間」	事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 財源(千円) は・検討	鉄道駅乗降客 平成25年度決算 670,533 641,100	数(1日当たり) <mark>平成26年度決算</mark> 613,444 552,300 61,144	平	53 189,701 成 26年 金額(干 6	190,011 度決算 -円) 13,444	調査中 (事業費 県事業	人 (力)の主 内容 (への)	統計だな内訳	対得 いまがそ	年度 608 524	900
事業費(三年) 「「一般」 「「課題(事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 財源(千円) は・検討	鉄道駅乗降客 平成25年度決算 670,533 641,100 29,433 踏切により交通 i 市関与の妥当性	数(1日当たり) <mark>平成26年度決算</mark> 613,444 552,300 61,144 1 渋滞が多く、市	7 街	53 189,701 成 26年 金額(干 6	190,011 度決算 -円) 13,444	調査中 (事業費 県事業	人 (力)の主 内容 (への)	統計だな内訳	文得 いまがヤ <mark>平成27</mark>	年度 608 524	900 426
事業費(- 国支と 市債を 一般別 「一般別 「一般別 「一般別 「一般別 「一般別 「一般別 「一般別	事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 財源(千円) は・検討	鉄道駅乗降客 平成25年度決算 670,533 641,100 29,433 踏切により交通 i 市関与の妥当性 ii 有効性	数(1日当たり) <mark>平成26年度決算</mark> 613,444 552,300 61,144 西 渋滞が多く、市	平 5 街 iii iv	53 189,701 成26年 金額(干 6 が分 公平性 効率性	190,011 度決算 -円) 13,444	調査中(事業費	人 (力)の主 内容 (への)	統計なな内訳 単独	文得 いまがヤ <mark>平成27</mark>	<u>年度</u> 608 524 83	900 426
事業費(- 国支上 市 県支上 市 ー般別 「)課題(る現状な ②評価 ③上記記	事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 材源(千円) 「・検討 「目的に対す よど)	鉄道駅乗降客 平成25年度決算 670,533 641,100 29,433 踏切により交通 i 市関与の妥当性 ii 有効性	数(1日当たり) <mark>平成26年度決算</mark> 613,444 552,300 61,144 1 通渋滞が多く、市 3高い 完成が求められ	平 ・ ・ iii iv	53 189,701 成26年 金額(千 6 地が分 公平性 効率性 いるため 達成状	190,011 度決算 -円) 13,444 か。	調査中 (事業費 県事業 3高い 3高い	人 内容 への重	統計な な内訳 利担金 ・V総合	文得 いまがや <mark>平成27</mark>	年度 608 524 83 7拡	900 426
事業費(- 国支上 市債を 一般別 「課題(る現状な ②評価 ③上記記 V 多額	事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 財源(千円) 「・検討 「目的に対す よど)	鉄道駅乗降客 平成25年度決算 670,533 641,100 29,433 踏切により交通 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民から早期等	数(1日当たり) <mark>平成26年度決算</mark> 613,444 552,300 61,144 1 通渋滞が多く、市 3高い 完成が求められ	平 ゴ iii iv	53 189,701 成26年 金額(千 6 地が分 公平性 効率性 いるため 達成状 平	190,011 度決算 -円) 13,444 - 断され	調査中(事業費 県事業 3高い 3高い	人内容への重	統計な な内訳 利担金 ・V総合	文得 いまがや 平成27 評価	年度 608 524 83 7拡;	900 426
事業費(- 国支上 市債を 一般別 「課題(る現状な ②評価 ③上記記 V 多額	事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 材源(千円) 「・検討 「目的に対す よど)	鉄道駅乗降客 平成25年度決算 670,533 641,100 29,433 踏切により交通 i 市関与の妥当性 ii 有効性 市民から早期等	数(1日当たり) <mark>平成26年度決算</mark> 613,444 552,300 61,144 1 通渋滞が多く、市 3高い 完成が求められ	平 ゴ iii iv	53 189,701 成26年 金額(千 6 地が分 公平性 効率性 いるため	190,011 度決算 -円) 13,444 - 断され	調査中 (事業費 県事業 3高い 3高い	人内容への重	統計な な内訳 利担金 ・V総合	文得 いまがや <mark>平成27</mark>	年度 608 524 83 7拡	900 426

完了

③達成状況

④未完了・非着手の理由

現年分

383,944

▲ 374,181

613,444

補正

流用·充当

650,871

平成27年度への繰越額(単位;千円)

387,537

平成27年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

_	下以27千发 蛛人女中事物争未計叫议(争议)(保华計叫议	<u>.,</u>										
事務事業名	都市計画道路3・3・16号新鎌ケ谷南線整備事業	会計	款	項	目	多額経費						
争协争未有	10月1日回追応して、10万利城り石田林笠畑事木	一般	8	4	3	0						
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路	各河人	整	備課						
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田	日淳	į.							
I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)												
① 前同												

	事業認可の取得に向けて予備設計を行 い、事業の拡充を図る。
②①に 基づく 取組み	予備設計に着手した。

③平成27年 改革·改善

内容

度に取組む事業認可を取得し、地元説明会を 実施し、事業に着手する。

Ⅱ 事務事業の目的 概要

結果

①目的	対象	都市計画道路3·3·16号線		測量、設計、用地補償、工事を行 い、道路整備を図る。						
②事務事	事業の概要	当該都市計画道路の整備によ する。	らり、新鎌ケ谷地 I	区内の発生集中交通を円滑に処理						
からの状況	分析(事業開始 兄変化や今後の 5民意向など)	本川 心本	特定土地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平から本事業を開始した。							

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

①平月 業の月	^{붗26年度の事} ^{붗果}	予備設計に着	予備設計に着手した。(平成27年度への繰越有)										
②成界	Ę.	指标	漂名称	平成2 年度	4 平成25 年度	平成26 年度	単位		算定根拠				
を表す		都市計画道路	整備延長	12,16	9 12,169	12,169	m	業務耳	127年				
指標	ii	都市計画道路		3	3 33	33	%	業務耳	取得				
	iii	「道路の状況」	不満足度	_	66.4	_	%	市民意識調査					
③事剂	务事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年	成26年度決算(事業費)			な内訳	平成27年度予算				
事業費	(千円)	2,998	0	金額(千円)		内容		35,080				
国	支出金(千円)												
県3	支出金(千円)				•								
市信	責その他(千円)				•				29,633				
— A	段財源(千円)	2 998	0						5.447				

₩ 評価・格計

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ケ谷地区 を通り、安全性	 アクセスする道	路がないため	、通過交通	が生活道路
②評価	i 市関与の妥当性 ii 有効性	iii 公平性 iv 効率性	3高い 3高い	v 総合評価	7拡充
③上記評価の理由	新鎌ケ谷地区の	 ☑の接続や道路₹	川用者の安全	生や利便性	の向上を図

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	予 備設計図 聿 作成	平	成26年	度事業	養の物	犬況(単位;千円)			
①十級20千度の計画) 佣成可因音序及。	計画事業費	予算額			決算額			
②計画に対する事業実績	予備設計委託に着手した。			<u>当初</u> H25⇒26繰越	3,000		H25から の繰越		
③達成状況	未完了	3,000	3,000	補正		0	TD (= /)		
	予備設計について県の関係機 関との協議に不測の時間を要し			流用·充当			現年分	0	
受水儿 1 养相于00年出		平成27年度への)繰越額(単	並(千円)	1,746				

<u> </u>	平成27年度 鎌ケ谷市事務事	·業i	評価表(事後)) (標準評価表	<u>:</u>)				
事務事業名	事務事業名 都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(新鎌ケ名								多額 経費
					一般	8	4		0
政策	32都市活動を支える3	δ通	通網整備を進ぬ	ります	担当課室	道路	各河人	整	備課
施策	321安全でゆとり	ある	る道路の整備		担当課室長	鎗日	日 淳	Ē	
I 改革·改善内容(=	=事務事業をより良く実施する	t=&	かの方策)						
で掲げ た内容 ②①に 基づく 取組み 結果 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	着手した。		③平成27年 度に取組む 改革・改善 内容	事業認可を取実施し、事業				明会	き
Ⅱ 事務事業の目的・	概要								
①目的 対象	都市計画道路3・4・10号線		図(対象をどう るのか)	測量、設計、 い、道路整備			工事	事を 行	行
②事務事業の概要	事務事業の概要 当該都市計画道路の整備により、新鎌ケ谷地区内の発生集中交通を円滑に処する。								
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 就25年度から本事業を開始した。								۱ ら 、	平
Ⅲ 事務事業の成果な	やコストの状況								

	平成2 きの成果	6年度の事 見	予備設計に着き	手した。(平成2	7年	度への)繰越有	ī)				
	成果		指标		平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	単位		算定根拠	!	
を	表す	i	都市計画道路			12,169	12,169	12,169	m	業務耳		
‡	標	ii	都市計画道路	都市計画道路整備率 				33	%	業務耳	仅得	
		iii	「道路の状況」	不満足度		_	66.4	_	%	市民意識調査		
	事務事	業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平	成26年	度決算	(事業費	()の主	な内訳	平成27年	度予算
哥	業費(=	F円)	2,998	0	KI1	金額(千	-円)		内容		(35,080
	国支出	出金(千円)										
	県支出	出金(千円)										
	市債その他(千円)											29,633
	一般則	オ源(千円)	2 998	0								5.447

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ケ谷地区 を通り、安全性	 アクセスする道	路がないため	、通過交通	が生活道路
②評価	i 市関与の妥当性 ii 有効性	iii 公平性 iv 効率性	3高い 3高い	v 総合評価	7拡充
③上記評価の理由	新鎌ケ谷地区の	 ☑の接続や道路₹	川用者の安全	生や利便性	の向上を図

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	予 借設計図 聿 作成	平成26年度事業費の状況(単位;千円)							
①十級20千度の計画) 佣成可因音序及。	計画事業費		Į	Į				
	予備設計委託に着手した。			<u>当初</u> H25⇒26繰越	3,000		H25から の繰越		
③達成状況	未完了	3,000	3,000	補正		0	<i>-</i> ^		
②キニア・非差毛の理由	予備設計について県の関係機 関との協議に不測の時間を要し			流用·充当			現年分	0	
		平成27年度への)繰越額(単	单位;千円)	1,746				

	Ī	F成27年度 鎖	*ケ谷市事務事	業評価表	₹(事後 <u>)</u>) (標準	評価表	<u> </u>				
 = 7/	7 击 ₩ 7	加士司玉学吸	O 4 40 F ± 7	ı ⊣ı, ∔n ⇔/	·白志/出言	₽₩/ ↑	· * * *7 \	会計	款	項目	多額経費	
事物	務事業名 —————	都巾計画追路	3・4・10号中が	て北仞晶が	l北初富線整備事業(交差部) 					4	3 O	
	政策	32都市	「活動を支えるダ	を通網整	備を進め	かます		担当課室	道路	河川	整備課	
	施策	3	21安全でゆとり	ある道路	の整備			担当課室長	鎗田	淳		
I 改革	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方	策)							
①前回 の評価 で掲げた内容	事業認可のほい、事業の拡	取得に向けて予 な充を図る。	備設計を行	度に	或27年 取組む ∙改善			な得し、			会を	
②①に 基づく 取組み 結果	予備設計に続		に着手	- 9 ත	0							
Ⅱ事務	事業の目的・	概要				1						
①目的	対象	都市計画道路	3•4•10号線	意図(対象 するのか				用地補		工事を	行	
②事務事	事業の概要	当該都市計画 する。	該都市計画道路の整備により、新鎌ケ谷地区内の発生集中交通を円滑に処 る。									
からの状況	分析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)	変化や今後の一式25年度から太東学太問がした										
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況										
①平成2 業の成界	6年度の事 見	予備設計に着	手した。(平成2	7年度への	の繰越る	肓)						
②成果			漂名称	平成24 年度	4 平成25 年度	平成26 年度	単位					
を表す	i	都市計画道路			12,169			業務取得 業務取得				
指標	ii	都市計画道路		33	-		%			1 *		
②声 表录	iii iii	「道路の状況」		— 亚中06年	66.4		%	市民意			マケ	
事業費(=		<u> </u>	平成26年度決算	+ 成20 年 金額(-		十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	内容	4.内訳	平风,		<u>5.080</u>	
	<u>「口)</u> 出金(千円)	2,990	U	亚	ГП)		门台			3	5,060	
	出金(千円)											
	の他(千円)									2	9,633	
	才源(千円)	2,998	0								5,447	
IV 評価												
①課題(る現状な	目的に対す		周辺には東西に に欠けている。	アクセス	する道	路がな	いため	、通過	交通	が生活	5道路	
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公平性 iv 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	7拉	充	
③上記評	呼価の理由	新鎌ケ谷地区のる必要性がある	と市域西部地区 る。	の接続や	さ道路和	川用者の	つ安全'	性や利	便性	の 向_	上を図	
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画』におげ	<u> </u>	犬況							
①平成2	6年度の計画	予備設計図書	 作成。	計画事業費	·成26年	度事業 予算額		犬況(単	i位;न 決算			
②計画に対	対する事業実績	予備設計委託	に着手した。			当初 H25⇒26繰越	3,000		H25か の繰	ら		
③達成物	犬況		記	3,000	3,000	補正		0	現年	分	0	
④未完了	・非着手の理由	予備設計につい 関との協議に不 たため。		平成27年度へ	の繰越額(単	流用·充当 (位;千円)	1,746		シレゴ	/3	Ĭ	

_	3	平成27年度 銵	ケ谷市事務事	業割	価表	(事後)	(標準	評価表	₹)					
由 7	女事業な	±7 + = L = C + C	80.4.10日 中	ᄱᆚ	. 	o白 あか /##	古 ** / •	+ :n \	会計	款	項	目	多額経費	
事 犯	务事業名 —————	都中計画退却	A3•4•10号中 	八儿	/ 例 虽 1	尿登 偏	争耒()	一 次)	一般	8	3 4	3		
	政策	32都市	活動を支えるる	交通網整備を進めます					担当課室	^室 道路河川整備語				
	施策	3	21安全でゆとり	ある	道路(の整備			担当課室長	鎗	田 ;	享		
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ため	の方気	€)								
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に	関と協議を行測量を行う。	路の計画変更に ううとともに、予値	備設計、路線 ————————————————————————————————————	(J	③平成 度に取 改革・i	組む		係機関	路の計 との協					
基づく取組み結果	関と協議を行線測量に着る		ŗ	内容 		定のうる								
_Ⅱ 事務	事業の目的・	<u>概要</u>		1										
①目的	対象	都市計画道路	3•4•10号線](対象 のか)	をどう			び予備:備を図			量る	生実	
②事務事	事業の概要	都市計画道路 合わせ、整備を	の計画変更を行 を図る。	すい、	一級	河川大	柏川第	三調館	節池整	備事	業の	の進	捗に	
からの状況見込み・市	予析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)	変更が必要とな	-級河川大柏川第二調節池整備事業及び地元要望に伴い都市計画道路の計画 変更が必要となった。									一画		
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況												
①平成2 業の成界	6年度の事 限	概略設計が完	了し、予備設計	及び	路線	測量に	着手し	<i>t</i> =。						
②成果		指标	票名称		平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	単位		算	定根	拠		
を表す	i	都市計画道路				12,169	m	業務取得						
指標	ii	都市計画道路			33	33	%	業務取得						
	iii	「道路の状況」		<u> </u>					民意識調査			7 F		
事業費(=		平成25年度決算	<u> 平成26年度決算</u> 6,456		(26年) 額(千		争耒賃	内容	なり訳	訳 平成2			<u>予昇</u> ,532	
	<u>「口)</u> 出金(千円)	U	0,430	31/	6只\		概略討		Ŧ			73	,552	
	出金(千円)					1,000	1970 F H H2	XH1 X F	10					
	その他(千円)													
	才源(千円)		6,456									75	,532	
IV 評価	i•検討													
①課題(る現状な	目的に対す	一級河川大柏	川第二調節池塱	整備	事業と	:の整備		の整合	を図る	ےے	0			
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		<u>\ 平性</u> b 率性		3高い 3高い		v 総合	評価	i	7拡	充	
③上記評	平価の理由		川第二調節池園					合わせ、	周辺の	<u>一</u> 作	本的	な整	·備	
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実		tai	<u> </u>	:況								
①平成2	6年度の計画	予備設計、測量		計画	平月事業費		度事業 予算額 当初		犬況(単		; 千P ÷算客			
②計画に	対する事業実績	予備設計及び 手した。	設計及び路線測量に着た。								うから 繰越		4,966	
③達成物	犬況	未完	包含	20	υ,000	25,500	補正		6,456	珥	ケハ		1 400	
④未完了	・非着手の理由	都市計画道路の きに不測の時間		平成27	7年度への)繰越額(単	流用·充当 位;千円)	13,032		- 現	年分		1,490	
								,						